

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年11月16日
【四半期会計期間】	第48期第2四半期（自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）
【会社名】	株式会社小僧寿し
【英訳名】	Kozosushi Co.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 磯村 明彦
【本店の所在の場所】	東京都中央区築地三丁目9番9号
【電話番号】	03 - 6226 - 4400（大代表）
【事務連絡者氏名】	取締役財務経理部長 片野 裕之
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区築地三丁目9番9号
【電話番号】	03 - 6226 - 4400（大代表）
【事務連絡者氏名】	取締役財務経理部長 片野 裕之
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社は、一部の取引業者との仕入取引において、架空取引による不適切な仕入高の計上及び支払処理が行われていた可能性があり、その影響が平成25年10月から平成27年5月までの複数年に及んでいる疑義が発生したことを受け、平成27年10月2日に外部の専門家を含む調査委員会を設置し、事実関係の調査を実施いたしました。

当該調査の結果、架空取引による不適切な仕入高の計上及び支払処理が行われていた事実が判明し、その結果として不適切な会計処理が確認されたため、過年度における決算の訂正が必要となりました。

これらの決算訂正により、当社が平成27年8月14日に提出いたしました第48期第2四半期（自平成27年4月1日至平成27年6月30日）に係る四半期報告書の一部を訂正する必要が生じたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表については、赤坂・海生公認会計士共同事務所により四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 業績の状況

(2) キャッシュ・フローの状況

第4 経理の状況

2. 監査証明について

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

四半期連結包括利益計算書

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

(1株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第47期 第2四半期連結 累計期間	第48期 第2四半期連結 累計期間	第47期
会計期間	自平成26年 1月1日 至平成26年 6月30日	自平成27年 1月1日 至平成27年 6月30日	自平成26年 1月1日 至平成26年 12月31日
売上高 (千円)	6,287,183	3,204,237	12,068,191
経常損益 (千円)	472,291	43,932	996,316
四半期(当期)純損益 (千円)	582,360	91,725	1,584,258
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	582,360	91,725	1,584,258
純資産額 (千円)	1,932,952	837,368	929,102
総資産額 (千円)	4,086,319	2,466,792	3,699,026
1株当たり四半期(当期)純損益金額 (円)	27.50	3.08	63.04
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	47.2	33.9	25.1
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	663,712	404,680	1,176,307
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	7,552	174,302	148,005
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	1,130,286	100,008	1,247,673
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	1,511,869	926,727	1,257,113

回次	第47期 第2四半期連結 会計期間	第48期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成26年 4月1日 至平成26年 6月30日	自平成27年 4月1日 至平成27年 6月30日
1株当たり四半期純損益金額 (円)	17.93	0.01

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 経常損益、四半期(当期)純損益、四半期包括利益又は包括利益、並びに1株当たり四半期(当期)純損益金額の は、損失であります。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期(当期)純損失金額であるため記載しておりません。

(訂正後)

回次		第47期 第2四半期連結 累計期間	第48期 第2四半期連結 累計期間	第47期
会計期間		自平成26年 1月1日 至平成26年 6月30日	自平成27年 1月1日 至平成27年 6月30日	自平成26年 1月1日 至平成26年 12月31日
売上高	(千円)	6,287,183	3,204,237	12,068,191
経常損益	(千円)	453,799	9,240	958,528
四半期(当期)純損益	(千円)	563,868	57,033	1,546,470
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	563,868	57,033	1,546,470
純資産額	(千円)	1,955,263	913,667	970,709
総資産額	(千円)	4,106,562	2,549,554	3,740,109
1株当たり四半期(当期)純損益金額	(円)	26.63	1.92	61.53
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	47.5	35.8	25.9
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	663,712	404,680	1,176,307
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	7,552	174,302	148,005
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	1,130,286	100,008	1,247,673
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高	(千円)	1,511,869	926,727	1,257,113

回次		第47期 第2四半期連結 会計期間	第48期 第2四半期連結 会計期間
会計期間		自平成26年 4月1日 至平成26年 6月30日	自平成27年 4月1日 至平成27年 6月30日
1株当たり四半期純損益金額	(円)	17.53	0.45

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 経常損益、四半期(当期)純損益、四半期包括利益又は包括利益、並びに1株当たり四半期(当期)純損益金額の は、損失であります。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期(当期)純損失金額であるため記載しておりません。

第2【事業の状況】

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

(訂正前)

当第2四半期連結累計期間（平成27年1月1日～平成27年6月30日）におけるわが国経済は、企業収益に改善の動きがみられるなど緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、円安に伴う実質所得の低下など消費動向は依然として不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、お客様の根強い節約志向が続く中で販売競争が激化するとともに、原材料価格の高騰もあり、依然として厳しい経営状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは当期、「赤字体質からの脱却、黒字転換の実現」を事業方針の主題として掲げており、当社の主軸事業とする持ち帰り寿し事業の再建を目的とした不採算店舗の閉店を進め、当第2四半期連結累計期間において、不採算店舗の閉店は完了しております。

現段階においては、既存店の収益構造改善のため、サービスの改善を始め、小僧寿しの味の基盤である舎利の品質向上や、季節の食材を織り交ぜたイベント商品の充実などを図り、お客様に感動を与える事が出来るサービスクオリティの実現に向け、改善を進めております。

また一方で、持ち帰り寿し事業とは異なる、収益の柱となる事業を創出するため、ラーメン事業の展開を進めており、同事業においても、顧客数の増加を図るための品質改善、新商品の展開を進めております。

以上の結果、売上高に関しましては、事業方針に掲げる不採算店舗の撤退を実施した事に起因し、32億4百万円（前年同期比49.0%減）となりました。

営業損失は、店舗収益構造の改善及び不採算店舗の閉店等、事業方針の骨子とした施策を実行した事により、損失幅は大幅に圧縮されたものの、40百万円の営業損失（前年同期は4億58百万円の営業損失）となり、経常損失は43百万円（前年同期は4億72百万円の経常損失）となりました。

また、四半期純損失は、閉鎖店舗に係る退職金の支払い等が発生したため、91百万円（前年同期は5億82百万円の四半期純損失）となりました。

(訂正後)

当第2四半期連結累計期間（平成27年1月1日～平成27年6月30日）におけるわが国経済は、企業収益に改善の動きがみられるなど緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、円安に伴う実質所得の低下など消費動向は依然として不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、お客様の根強い節約志向が続く中で販売競争が激化するとともに、原材料価格の高騰もあり、依然として厳しい経営状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは当期、「赤字体質からの脱却、黒字転換の実現」を事業方針の主題として掲げており、当社の主軸事業とする持ち帰り寿し事業の再建を目的とした不採算店舗の閉店を進め、当第2四半期連結累計期間において、不採算店舗の閉店は完了しております。

現段階においては、既存店の収益構造改善のため、サービスの改善を始め、小僧寿しの味の基盤である舎利の品質向上や、季節の食材を織り交ぜたイベント商品の充実などを図り、お客様に感動を与える事が出来るサービスクオリティの実現に向け、改善を進めております。

また一方で、持ち帰り寿し事業とは異なる、収益の柱となる事業を創出するため、ラーメン事業の展開を進めており、同事業においても、顧客数の増加を図るための品質改善、新商品の展開を進めております。

以上の結果、売上高に関しましては、事業方針に掲げる不採算店舗の撤退を実施した事に起因し、32億4百万円（前年同期比49.0%減）となりました。

営業利益は、店舗収益構造の改善及び不採算店舗の閉店等、事業方針の骨子とした施策を実行した事により、損失幅は大幅に圧縮され、15百万円の営業利益（前年同期は4億39百万円の営業損失）となり、経常損失は9百万円（前年同期は4億53百万円の経常損失）となりました。

また、四半期純損失は、閉鎖店舗に係る退職金の支払い等が発生したため、57百万円（前年同期は5億63百万円の四半期純損失）となりました。

(2)キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は4億4百万円(前年同期は6億63百万円の減少)となりました。

これは、売上債権の減少2億36百万円やたな卸資産の減少2億4百万円の資金の増加要因があったものの、仕入債務の減少3億48百万円、店舗等閉鎖損失引当金の減少79百万円、税金等調整前四半期純損失86百万円等の資金の減少要因が上回ったこと等によるものです。

(訂正後)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は4億4百万円(前年同期は6億63百万円の減少)となりました。

これは、売上債権の減少2億36百万円やたな卸資産の減少2億4百万円の資金の増加要因があったものの、仕入債務の減少3億44百万円、店舗等閉鎖損失引当金の減少79百万円、税金等調整前四半期純損失51百万円等の資金の減少要因が上回ったこと等によるものです。

第4【経理の状況】

2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成27年4月1日から平成27年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成27年1月1日から平成27年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人和宏事務所による四半期レビューを受けております。

なお、当社の監査人は次のとおり交代しております。

第47期連結会計年度	東陽監査法人
第48期第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間	監査法人和宏事務所

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成27年4月1日から平成27年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成27年1月1日から平成27年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人和宏事務所による四半期レビューを受けております。

なお、当社の監査人は次のとおり交代しております。

第47期連結会計年度	東陽監査法人
第48期第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間	監査法人和宏事務所

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、赤坂・海生公認会計士共同事務所による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,257,113	926,727
受取手形及び売掛金	439,852	203,759
商品	303,661	101,121
貯蔵品	20,759	18,447
その他	425,905	261,758
貸倒引当金	158,091	132,862
流動資産合計	2,289,202	1,378,951
固定資産		
有形固定資産	183,544	111,966
無形固定資産	-	23,760
投資その他の資産		
投資有価証券	7,232	7,232
敷金及び保証金	1,071,123	905,657
破産債権等に準ずる債権	430,664	294,441
その他	41,452	35,061
貸倒引当金	324,192	290,279
投資その他の資産合計	1,226,280	952,114
固定資産合計	1,409,824	1,087,840
資産合計	3,699,026	2,466,792

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	509,731	161,096
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
未払金	670,839	458,543
未払法人税等	21,479	10,374
賞与引当金	2,300	771
資産除去債務	145,277	18,240
店舗等閉鎖損失引当金	79,251	-
その他	196,266	102,816
流動負債合計	1,825,145	951,841
固定負債		
長期借入金	200,000	100,000
資産除去債務	259,044	253,079
長期末払金	264,984	190,759
訴訟損失引当金	22,757	22,757
その他	197,992	110,985
固定負債合計	944,778	677,582
負債合計	2,769,924	1,629,423
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,769,338	2,769,338
資本剰余金	1,521,820	1,521,820
利益剰余金	3,356,126	3,447,851
自己株式	7,393	7,401
株主資本合計	927,639	835,905
新株予約権	1,462	1,462
純資産合計	929,102	837,368
負債純資産合計	3,699,026	2,466,792

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,257,113	926,727
受取手形及び売掛金	439,852	203,759
商品	303,661	101,121
貯蔵品	20,759	18,447
その他	466,988	344,520
貸倒引当金	158,091	132,862
流動資産合計	2,330,284	1,461,713
固定資産		
有形固定資産	183,544	111,966
無形固定資産	-	23,760
投資その他の資産		
投資有価証券	7,232	7,232
敷金及び保証金	1,071,123	905,657
破産債権等に準ずる債権	430,664	294,441
その他	41,452	35,061
貸倒引当金	324,192	290,279
投資その他の資産合計	1,226,280	952,114
固定資産合計	1,409,824	1,087,840
資産合計	3,740,109	2,549,554

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	506,258	161,835
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
未払金	670,839	458,543
未払法人税等	21,479	10,374
賞与引当金	2,300	771
資産除去債務	145,277	18,240
店舗等閉鎖損失引当金	79,251	-
その他	199,215	108,540
流動負債合計	<u>1,824,621</u>	<u>958,304</u>
固定負債		
長期借入金	200,000	100,000
資産除去債務	259,044	253,079
長期未払金	264,984	190,759
訴訟損失引当金	22,757	22,757
その他	197,992	110,985
固定負債合計	<u>944,778</u>	<u>677,582</u>
負債合計	<u>2,769,399</u>	<u>1,635,886</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,769,338	2,769,338
資本剰余金	1,521,820	1,521,820
利益剰余金	<u>3,314,519</u>	<u>3,371,552</u>
自己株式	7,393	7,401
株主資本合計	<u>969,246</u>	<u>912,204</u>
新株予約権	1,462	1,462
純資産合計	<u>970,709</u>	<u>913,667</u>
負債純資産合計	<u>3,740,109</u>	<u>2,549,554</u>

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 1 月 1 日 至 平成26年 6 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 1 月 1 日 至 平成27年 6 月30日)
売上高	6,287,183	3,204,237
売上原価	3,315,043	1,517,973
売上総利益	2,972,140	1,686,264
販売費及び一般管理費	3,430,271	1,726,531
営業損失()	458,131	40,266
営業外収益		
受取利息	462	341
受取配当金	19,115	-
受取賃貸料	97,958	67,891
貸倒引当金戻入額	-	21,291
その他	28,852	10,366
営業外収益合計	146,388	99,891
営業外費用		
支払利息	5,093	11,938
賃貸資産関連費用	89,453	64,058
株式交付費	46,311	-
その他	19,690	27,561
営業外費用合計	160,549	103,557
経常損失()	472,291	43,932
特別利益		
固定資産売却益	462	16,507
新株予約権戻入益	4,114	-
その他	784	7,361
特別利益合計	5,361	23,868
特別損失		
固定資産除却損	3,067	3,436
減損損失	3,074	-
貸倒引当金繰入額	80,364	-
解約違約金	5,810	-
特別退職金	-	47,261
その他	17,540	15,567
特別損失合計	109,856	66,265
税金等調整前四半期純損失()	576,786	86,329
法人税、住民税及び事業税	5,574	5,395
法人税等合計	5,574	5,395
少数株主損益調整前四半期純損失()	582,360	91,725
四半期純損失()	582,360	91,725

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	6,287,183	3,204,237
売上原価	3,296,551	1,483,281
売上総利益	2,990,632	1,720,956
販売費及び一般管理費	3,430,271	1,705,239
営業利益又は営業損失()	439,639	15,717
営業外収益		
受取利息	462	341
受取配当金	19,115	-
受取賃貸料	97,958	67,891
その他	28,852	10,366
営業外収益合計	146,388	78,598
営業外費用		
支払利息	5,093	11,938
貸資産関連費用	89,453	64,058
株式交付費	46,311	-
その他	19,690	27,561
営業外費用合計	160,549	103,557
経常損失()	453,799	9,240
特別利益		
固定資産売却益	462	16,507
新株予約権戻入益	4,114	-
その他	784	7,361
特別利益合計	5,361	23,868
特別損失		
固定資産除却損	3,067	3,436
減損損失	3,074	-
貸倒引当金繰入額	80,364	-
解約違約金	5,810	-
特別退職金	-	47,261
その他	17,540	15,567
特別損失合計	109,856	66,265
税金等調整前四半期純損失()	558,294	51,637
法人税、住民税及び事業税	5,574	5,395
法人税等合計	5,574	5,395
少数株主損益調整前四半期純損失()	563,868	57,033
四半期純損失()	563,868	57,033

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	582,360	91,725
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	582,360	91,725
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	582,360	91,725

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	563,868	57,033
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	563,868	57,033
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	563,868	57,033

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】
(訂正前)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	576,786	86,329
減価償却費	3,873	8,837
減損損失	3,074	-
賃貸資産減価償却費	132	-
特別退職金	-	47,261
敷金償却	-	917
貸倒引当金の増減額(は減少)	78,639	59,142
賞与引当金の増減額(は減少)	71	1,529
店舗等閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	552	79,251
受取利息及び受取配当金	19,577	341
支払利息	5,093	11,938
固定資産売却損益(は益)	462	16,507
固定資産除却損	3,067	3,436
売上債権の増減額(は増加)	257,065	236,093
たな卸資産の増減額(は増加)	428,744	204,851
差入保証金の増減額(は増加)	155,066	-
仕入債務の増減額(は減少)	528,549	348,634
未払消費税等の増減額(は減少)	49,523	92,954
その他の流動資産の増減額(は増加)	1,283	164,425
その他の流動負債の増減額(は減少)	99,767	197,030
その他の固定負債の増減額(は減少)	5,581	155,498
新株予約権戻入益	4,114	-
株式交付費	46,311	-
その他	2,449	26,663
小計	612,742	332,794
利息及び配当金の受取額	19,922	341
利息の支払額	5,093	4,031
法人税等の支払額	65,798	20,934
特別退職金の支払額	-	47,261
営業活動によるキャッシュ・フロー	663,712	404,680
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入	462	109,507
有形固定資産の取得による支出	27,632	60,885
無形固定資産の取得による支出	-	23,760
資産除去債務の履行による支出	809	-
敷金の差入による支出	631	6,594
敷金の回収による収入	29,465	150,322
貸付金の回収による収入	6,517	5,712
その他	180	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,552	174,302

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	200,000	100,000
長期借入金の返済による支出	100,600	-
リース債務の返済による支出	22,814	-
株式の発行による収入	1,453,751	-
自己株式の取得による支出	51	8
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,130,286	100,008
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	474,126	330,386
現金及び現金同等物の期首残高	1,037,743	1,257,113
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,511,869	926,727

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	558,294	51,637
減価償却費	3,873	8,837
減損損失	3,074	-
賃貸資産減価償却費	132	-
特別退職金	-	47,261
敷金償却	-	917
貸倒引当金の増減額(は減少)	78,639	59,142
賞与引当金の増減額(は減少)	71	1,529
店舗等閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	552	79,251
受取利息及び受取配当金	19,577	341
支払利息	5,093	11,938
固定資産売却損益(は益)	462	16,507
固定資産除却損	3,067	3,436
売上債権の増減額(は増加)	257,065	236,093
たな卸資産の増減額(は増加)	428,744	204,851
差入保証金の増減額(は増加)	155,066	-
仕入債務の増減額(は減少)	529,068	344,422
未払消費税等の増減額(は減少)	48,309	90,179
その他の流動資産の増減額(は増加)	20,470	122,746
その他の流動負債の増減額(は減少)	99,767	197,030
その他の固定負債の増減額(は減少)	5,581	155,498
新株予約権戻入益	4,114	-
株式交付費	46,311	-
その他	2,449	26,663
小計	612,742	332,794
利息及び配当金の受取額	19,922	341
利息の支払額	5,093	4,031
法人税等の支払額	65,798	20,934
特別退職金の支払額	-	47,261
営業活動によるキャッシュ・フロー	663,712	404,680
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入	462	109,507
有形固定資産の取得による支出	27,632	60,885
無形固定資産の取得による支出	-	23,760
資産除去債務の履行による支出	809	-
敷金の差入による支出	631	6,594
敷金の回収による収入	29,465	150,322
貸付金の回収による収入	6,517	5,712
その他	180	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,552	174,302

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	200,000	100,000
長期借入金の返済による支出	100,600	-
リース債務の返済による支出	22,814	-
株式の発行による収入	1,453,751	-
自己株式の取得による支出	51	8
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,130,286	100,008
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	474,126	330,386
現金及び現金同等物の期首残高	1,037,743	1,257,113
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,511,869	926,727

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

前第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	持ち帰り寿し 事業等	寿しFC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,771,209	1,515,974	6,287,183	-	6,287,183
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	4,771,209	1,515,974	6,287,183	-	6,287,183
セグメント利益又は損失()	111,090	50,375	161,466	296,665	458,131

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用296,665千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門の配賦不能営業費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	持ち帰り寿し 事業等	寿しFC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,466,769	737,468	3,204,237	-	3,204,237
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,466,769	737,468	3,204,237	-	3,204,237
セグメント利益又は損失()	71,375	137,509	66,133	106,400	40,266

(注)1. セグメント損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用106,400千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門の配賦不能営業費用であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(訂正後)

前第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	持ち帰り寿し 事業等	寿しFC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,771,209	1,515,974	6,287,183	-	6,287,183
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	4,771,209	1,515,974	6,287,183	-	6,287,183
セグメント利益又は損失()	<u>97,057</u>	<u>45,916</u>	<u>142,974</u>	296,665	<u>439,639</u>

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用296,665千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門の配賦不能営業費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	持ち帰り寿し 事業等	寿しFC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,466,769	737,468	3,204,237	-	3,204,237
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,466,769	737,468	3,204,237	-	3,204,237
セグメント利益又は損失()	<u>36,683</u>	<u>137,509</u>	<u>100,825</u>	<u>85,108</u>	<u>15,717</u>

(注)1. セグメント損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用85,108千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門の配賦不能営業費用であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(1株当たり情報)

(訂正前)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額	27円50銭	3円08銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	582,360	91,725
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	582,360	91,725
普通株式の期中平均株式数(株)	21,176,601	29,747,981

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(訂正後)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額	26円63銭	1円92銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	563,868	57,033
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	563,868	57,033
普通株式の期中平均株式数(株)	21,176,601	29,747,981

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年11月16日

株式会社小僧寿し

取締役会 御中

赤坂・海生公認会計士共同事務所

公認会計士 赤坂 満秋 印

公認会計士 海生 裕明 印

私たちは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社小僧寿しの平成27年1月1日から平成27年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成27年4月1日から平成27年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成27年1月1日から平成27年6月30日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

私たちの責任は、私たちが実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

私たちは、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

私たちが実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社小僧寿し及び連結子会社の平成27年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、訂正前の四半期連結財務諸表は前任監査人によって四半期レビューされており、平成27年8月14日に四半期レビュー報告書が提出されている。

利害関係

会社と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。